



たばたあずみ

Tel・Fax
550-6674



山根とみえ

Tel・Fax
550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax
558-9721



戸沢ひろゆき議員の一般質問

12月定例市議会は11月29日から開催され、議員の一般質問は30日から行われました。日本共産党市議団の戸沢ひろゆき議員は3つのテーマで質問しました。質問と回答要旨は以下の通りです。

(1) 武蔵引田駅周辺地区整備について

武蔵引田駅周辺の1土地区画整理は、農業地域と市街化区域にする手続きが難航しています。財政も大変な今、この事業は凍結を含む見直しを行うべきと質問しました。

回答要旨

市の都市計画マスタープランに基づき、秋川高校跡地周辺地区と連携した産業系複合市街地の形成に向けた計画を進めている。現在JR五日市線引田駅北口地区において、事業区域の西側に約8.5haの農振地域がありその解除が必要である。現在の調整区域の既存宅地を含めて、区画整理事業において市街化区域に編入の必要がある。しかし現時点で東京都に於いて協議が整っていない。市民との協働の立場から現在の状況をお知らせしてきた。引き続き都との協議をすすめ、区画整理の実施に向け努力したいと回答しました。

再質問

戸沢議員は、既存宅地の西側にあった(株)セラテック跡地も計画地区内なのに下水道が入っており、矛盾がある。陳情も出されており住民の切実な声を大事にして下水道だけでも先に進めるようもとめました。しかし市は、二重投資になることを理由に、できないと答えました。



サンショウウオを守るため湧水条例を制定するよう求める戸沢議員

再質問

戸沢議員が、地産地消の立場から、農業を守るためTPPに対する市長の見解を問いましたが、市長は回答を拒否しました。またファーマーズセンターが独自に目的寄付をして改築に努力していることを確認しました。

(2) 農畜産業の地産地消の推進について 市長 TPPについて解答を拒否

農畜産業の地産地消を推進するとともに、地域ブランドの育成をすすめていきたいと市長の所信表明にあった。ファーマーズセンターの改造計画を新年度はどう進めるか質問しました。

回答要旨

23年第3回定例会での答弁と同様、更なる地産地消型農業をめざして農業の複合拠点施設として再整備に向けた方向づけをする。昨年から、先進地の視察や農地散策と収穫体験を組み合わせた消費者と農業者の交流イベント「あきる農を知り隊」を実施して、生産基盤の強化を図るためのパワーアップ事業の導入を行った。農家女性が積極的に参画している直売所などの視察を予定している。秋川ファーマーズセンターの再整備については、事業を継続し秋川農協を中心に関係団体と連携して進めていくと回答しました。

(3) サンショウウオの住める森づくりについて

自然環境を象徴するトウキョウサンショウウオをシンボルとして郷土の恵みの森事業を進めると所信表明されました。保存のための具体的手立てを求めて質問しました。

回答要旨

産卵場所の整備や生息調査を進めている。森林レンジャーやNPO法人など関係団体と協力して、保全のために努力したいと回答しました。

再質問

サンショウウオを守るため、ピオトープ、ワウンドなどを作ることで、また、湧水条例等制定するよう求めました。